

飛び乗っていました。機関車の運転手さんも驚いたことでしょう、本当に発車を阻止する気持ちでした。時には朝飯をあわててかけ込んで、飛び乗った後に貧血を起こし、顔から血の気が消え、あぶら汗を流したこと度々でした。今、また「通学をせよ」と命令されたら即、辞退申し上げただろう。

本当に大変な3年間の通学でした。都会と違い、電車の本数が少なすぎるのが原因のひとつでしたが、3年間の通学を可能にした大きな原因の一つは、自分の兄の存在です。

42期卒業の兄輝雄とは、喧嘩をした記憶は全くなく、町内会の野球大会ではお互いにバッテリイーを組んだり、冬は余市の切り通しのジャンプ台で飛びあつていました。このスキージャンプ台は、目の前が日本海で海からの強風で吹雪の時は「即、中止」の危険なジャンプ台でした。

ワイキキの動物園の奥にテニスコートが20面ほどあり、そこでもプレーしました（メチャ暑い日でしたが……）。



家の前の海で。右が兄

確かに、緑陵高校にもジャンプ台を作つて頂いた初代のバッケンレコードを作つたのは、この兄でした、この兄が通学して、自分にできないわけがないと思つていました。兄がいなかつたら3年間の通学はできなかつたでしよう!! 忘れてはいけない悲しい事故もありました、積丹半島でのトンネル崩落事故もありました。後輩の女の子が犠牲になりました、彼女は積丹からバスで余市駅に来て、7時15分の汽車に乗車していたのだろう、悲しい事故でした。

高校2年の時に、庭球部の女性に片思いしました。言葉を交わすこともなく、のちに卒業アルバムで名前を知ることになるというシャイな生徒でした。

オランダに勤務した時は、オールカーボン製のラケット（VOLK）バルキーを愛用していました。

ドイツにいた時は、オールカーボン製のラケット（VOLK）バルキーを愛用していました。

オランダに勤務した時は、ドイツのビール祭り「オクトーバーフェスト」に参加しました。

アウトバーンをミュウヘン

に向かって行くと、小高い

右手の丘の上にヴォルクス・

ワーゲンの車の工場が白夜に

映っていました。

ドイツ勤務では、ライン下

りや、スイスまで旅に出かけ、

仕事に、旅に、充実した日々

でした。世界遺産の「モンサ

ン・ミシユエル」を訪れるこ

とが出来なかつたのは、残念なことでした。

これらの勤務を経験したこ

とで、クヨクヨした性格は、姿を消し、生き方が太く成長した様に感じます。

東京尊商會が、益々発展

見し（？）参加させて頂いています。

46期の谷澤忠之君に感謝して

勝をお祈り致します。

東京尊商會が、益々発展

見し（？）参加させて頂いて

います。

46期の谷澤忠之君に感謝して

勝をお祈り致します。

東京尊商會が、益々発展

ことです。

元気百倍、この業界に入る
ことが目標となつてから、日
常生活も精神構造も全てが一
変しました。

目標を持った人間は強くなります。五臓六腑にカンフル剤をブチ込まれた様なものです。もし、この教科書に出会つていなければ確実に人生は違っていたでしょう。

高校卒業後、大変運よく本社東京の広告代理店、勤務地札幌に入社が決まり、紆余曲

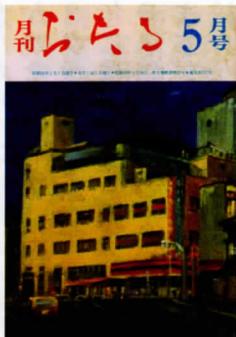
むかしの小樽の商店街？

田中喜代子 48期

緑町の校舎から地獄坂の道を駅までの帰り道の前方に海がみえる光景は、いつも遠い小樽を思い起します。

先ごろ、久しぶりに押入れの奥の整理をしたところ「月刊 おたる」の小冊子が封筒の中から数冊でてきました。

表紙は小樽港埠頭の油絵（昭和41年4月発行）、パラパラめくると昔の小樽が飛び出して1ページは北海道拓殖銀行の全面広告、そのあと協賛会社・店舗名が懐かしく、ニューギンザ、今井、大国屋、二見屋、小樽専門会と続いており、地元のことが今となって昔の情景を醸し出し、皆さんに昔の小樽商店街を紙上で散歩していただければと筆を執りました。



折はありましたがあれなりに充実した人生を送ることが

でなく、子供と若者が少ないことも気がかりな点です。

また老化現象とお付き合いしながら……。

そんな私も現在では、65歳、頑も寂しくなりましたが、小

あつて夜10時過ぎの街を少し歩きましたが、人影はほとん

樽はそれ以上でしよう。

た。どうなく、大変寂しい情景でし

約196,000人、後志管内は約396,000人だったのが、現在では小樽126,000人の後志222,000人です。

すが、これからも世界に二つ
とない、愛すべき小樽に時々
顔を出したいものです。

東京の経営者たち
も、ぜひ故郷小樽に、母校に足を運んでいただければと思ふ
うこの頃です。



▲今年3月の小樽駅前通り

小樽の街から見た経済

本間 寛 51期

ら人口の減少、高齢化が進んでいるとはいえ寂しい限りです。事業者の廃業が増加しており、老人医療、介護に関連する業種のみ新規創業が見られます。

新聞では連日景気の回復雇用状況の改善等が報道されおり、「アベノミクス」の効果と評価されていますが、小樽は余り恩恵はありません。建設関連業者の受注は改善していますが、「金融円滑化

丸井デパート、グランドホーテルの建物も漸く解体が完了し、跡地には高齢者住宅・病院が建つ予定です。

小樽の駅前から5号線を北
幌方面に進むと、数え切れ
い程の商店がシャツターを下
ろしたままの状況です。いく

このような斜陽小樽の活性化の起爆剤として、小樽市・商工関係者らが、08年に「小樽にカジノを誘致する会」を設立して誘致推進運動を進めています。昨年9月には、市長がカジノ誘致を正式表明しましたが、先日、「カジノ誘致に反対する小樽市民の会」

の設立総会が開かれました。予想を超える人が集まつたそうです。今後、激しい論争が小樽運河保存運動のような大きなうねりになる可能性があります。小樽の将来を考える良い機会かもしれません。

さて、話題を我が母校に移しますと、今年の入学生は定員を若干下回りました。昨年までは、2次募集で何とか定員を満たしていましたが、残念ながら今年は定員に満たなかつたそうです。現在1学年3クラスありますが、平成28年には1クラス減少して2クラスになります。その後は、職業学校の統合が話題になるのかも知れません。今年の春の人事異動では、金子教頭が苦心商業の校長に栄転されました。後任には古市教頭が赴任されました。金子教頭には、100周年記念事業に関連して大変お世話になりました。今後のご活躍が期待されます。

また函館商業の校長に小樽商業OB(59期)の川真田さんが就任されました。OBの活躍は嬉しいものです。また今年の1月23日に創立100周年記念事業の一環として「May」のコンサートを学校の体育館で行いました。

事務局へのご連絡は
浜谷哲男

TEL [REDACTED]

会員の住所変更など、
気軽に相談下さい。
ご意見大歓迎！

東京尊商会の参加をお待ちしています 役員スタッフ一同



生徒達は、大変盛り上がりでいましたので、良い記念事業になつたと思います。東京で暑さに耐えられなくなつたらぜひ小樽に遊びに来て下さい。東京尊商の皆様の健康とご活躍を願っています。

お知らせ 今年の 東京尊商会総会は 場所が変わりました

平成26年10月25日
土曜日15:00より受付
下記ホテルで開催します

場所
ホテル東京ガーデンパレス
東京都文京区湯島
1-7-5

御茶ノ水駅下車
聖橋口より徒歩5分



例年同様、暑い日が続いております。50数年前の子供の頃、父親はいつも「冷害だ、冷害だ……」と嘆いていたことがあります。日高地方の稲作にとつて一番日照の欲しいときに涼しくなるので、その言葉をよく耳にした記憶が残っております。

逆に今は、北海道も団扇から、扇風機、エアコン・クーラーへと温暖化の気候とともに進化している様です。

新聞には、高校野球の各地域の決勝戦結果が報じられておりましす、南北海道決勝戦は小樽潮稜高校と札幌の東海大4高校で1回の1点で小樽潮稜が惜しくも敗退！。

小生の在学1年のとき小樽公園近くの球場・札幌丸山球場に応援に行つた記憶があります。応援歌を聞くと多少とも血が滾る思いがします。血圧が上がるのでしょうか？ 元気になる思い出です。

昨年は、小樽北照高校が出場しました。応援に誰かと一緒に、と思つてゐる間に敗退してしまいました。

一度、甲子園へ高校野球の応援に行つてみたいと思いつつ、母校野球部なく、小樽のどこかの高校のとき、足を運びたいと思つております。

村井健

51期

II 編集後記 II